

# 1 調査の目的と概要

---

## (1) 調査の背景と目的

本調査は、「古都」京都を構成する京都市・宇治市・大津市の3都市で連携して行う「京都を中心とした歴史都市の総合的魅力向上調査」の一環として、京都市をフィールドとした観光行動調査を実施し、歴史都市観光における交通や情報提供に関する課題や対策のあり方について検討を行うものである。

京都市は、我が国を代表する国際観光都市（平成17年入洛観光客4,727万人）であり、平成13年度以降、観光地の道路混雑緩和を目的としたパークアンドライドなどのTDM（交通需要管理）施策や、観光客の快適な歩行空間の確保を目的とした観光交通対策などに先駆的に取り組んでいることから、本調査ではこうした観光交通対策の評価についても検討を行う。また、京都市では過年度（平成8年度）にも大規模な観光行動調査を実施しており、観光行動の経年変化も捉えることができる。

こうしたことから、本調査成果は、京都市だけでなく、広く我が国の歴史都市の魅力を向上する「景観・文化・観光」の3分野の循環システム構築に資する基礎資料として活かすことが期待できる。

加えて、本調査では、質問紙によるアンケート調査に加え、GPS携帯電話を用いた行動調査（プローブパーソン調査）も実施したが、こうした調査手法やデータ分析手法は、観光客の集中による交通混雑など、京都市と同様の課題を抱える歴史都市においても適用可能である。

## (2) 調査の概要

本調査では、質問紙によるアンケート調査と GPS 携帯電話を用いたプローブパーソン調査の2つの調査手法も用いて、観光行動調査を行った。実態調査は11月に実施したが、11月は観光客が1年中で最も集中し、観光交通の問題が顕在化するとともに、パークアンドライドなどの観光交通対策が実施される時期である。

なお、調査を進めるにあたって、学識経験者等で構成する「観光客の動向調査」研究会を組織し、この検討結果を踏まえて調査のとりまとめを行った。

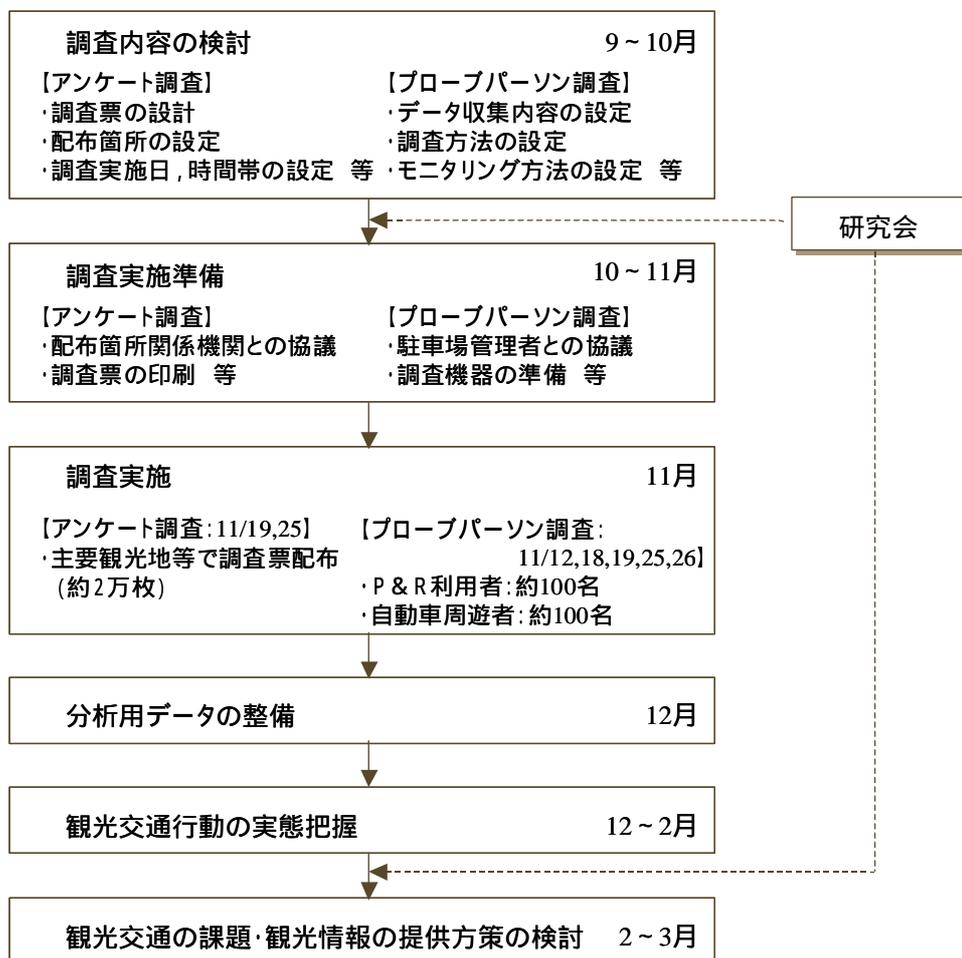


図 1-1 調査実施スケジュール

本調査では、質問紙によるアンケート調査と GPS 携帯電話を用いたプローブパーソン調査を実施した。アンケート調査は、京都市の観光行動の全体像（エリア間の移動、利用交通機関、滞在時間など）やその感想を把握することを目的とし、調査票は、京都市内の主要観光地や鉄道ターミナルで観光客に手渡しで配布し、郵送で回収した。調査票の配布枚数は約 20,000 枚である。

表 1-1 アンケート調査の概要

調査方法	調査票の手渡し配布・郵送回収
調査規模	配布数：約 20,000 枚
調査実施日	2006 年 11 月 19 日(日), 11 月 25 日(土)
配布箇所	主要観光地：29 箇所, 鉄道ターミナル：6 箇所
調査項目	被験者属性, 今回の旅行の特性（日程, 来訪頻度）, 京都市内の移動特性（トリップチェーン）, 京都観光に対する評価 など
その他	調査票と一緒にボールペンを配布
回収状況	回収数：3,456 枚 回収率：18%

プローブパーソン調査は、アンケート調査では捉えられない移動経路などの詳細・正確な行動データを取得することを目的に実施した。調査機器等の制約から被験者数が限られる一方、公共交通利用者と自動車利用者をバランスよく対象とする必要があるため、京都市が「平成 18 年度 のりかえ（無料）駐車場」として設置した駐車場（以下、P&R 駐車場と記す）を利用し公共交通で周遊する観光客（以下、P&R 利用者）と、市営駐車場等の駐車場を利用し自動車で周遊する観光客（以下、自動車周遊者）から被験者を募った。

表 1-2 プローブパーソン調査の概要

調査方法	駐車場にて、GPS 携帯電話の手渡し配布・回収
調査規模	被験者数：P&R 利用者, 自動車周遊者それぞれ約 100 名 京都観光の全体の動向を正確に把握できる数ではなく、観光客の詳細な行動を見るために必要なサンプル数である。
調査実施日	2006 年 11 月 12 日(日), 18 日(土), 19 日(日), 25 日(土), 26 日(日) 11 月の土日に実施した理由は、アンケート調査の実施時期の理由と同様
配布箇所	P&R 利用者：P&R 駐車場のうち、2 箇所(京都南エリア, 丹波口エリア) 自動車周遊者：二条城駐車場, 岡崎公園駐車場, 阪急嵐山駐車場
調査項目	京都市内での移動軌跡（位置, 時刻）, 各訪問地での出費額・出費品目, 観光中に印象に残ったこと等のコメント
謝礼	ギフトカード 3,000 円分

プローブパーソン調査：GPS 携帯電話を利用し、被験者の移動状況を記録する調査

研究会は平成 18 年 10 月及び平成 19 年 2 月の計 2 回実施し、調査の趣旨や実施方法、調査結果のとりまとめ等について議論を行った。

**【研究会委員】**

- 北村 隆一 京都大学大学院教授
- 西井 和夫 山梨大学大学院教授
- 中島 廣長 国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所調査課長
- 西村 健吾 京都市産業観光局観光部観光振興課国際事業担当課長
- 北村 信幸 京都市都市計画局交通政策室計画推進課長

**【第 1 回研究会議事次第】**

(1) 開会

(2) 議事

「観光客の動向調査」の目的と概要

アンケート調査実施方法

プローブパーソン調査実施方法

調査項目

(3) 閉会

**【第 2 回研究会議事次第】**

(1) 開会

(2) 議事

アンケート調査の結果について

プローブパーソン調査の結果について

とりまとめについて

(3) 閉会